

<p>PFD を使ったテスト計画 ～抜け漏れない段取りと成果物の定義～</p>
<p>福良 智明 fukura.t@opst.co.jp 株式会社オープンストリーム SI 事業部 システム開発本部 プロジェクト推進部</p>
<p><b>発表要旨：</b></p> <p>テスト工程で発生しがちな問題を予防する為に、テスト計画(特に段取りと成果物)に関する改善活動を行いました。</p> <p>ツールとして PFD(プロセスフローダイアグラム)を使って改善を行ったのですが、実際の成果物も交えながら、取り組み内容と取り組みの結果について発表させていただきます。</p>
<p><b>キーワード：</b> PFD、テスト計画、段取りと成果物</p>
<p><b>想定している聴衆</b> テストマネージャまたはリーダとして、もっと効果的なテスト計画(特に段取りと成果物について)を立案したいと考えられておられる方。</p>
<p><b>発表者の紹介 (全角 100 文字)：</b> 元々は 10 年近く開発を行っていましたが、テスト・品質に興味があり、数年前から本格的にテストに関わる業務を行うようになりました。今回は、これまでの活動の成果として PFD を使った改善活動の事例を発表させていただきます。</p>

\* 副題は不要であれば行ごと削除してください



# PFDを使ったテスト計画

## ～抜け漏れない段取りと成果物の定義～

株式会社オープンストリーム 福良 智明

Make *IT* your Success

**みなさんのプロジェクトでは、  
次のような問題が起きていな  
いでしょうか？**

## 【問題点 1】 目的が曖昧な成果物

- 利用目的が曖昧で明らかになっていない為に、利用しようとした時に必要な情報が揃っていない

例)

- 画面イベントのテストをしようとしたが、イベント一覧の記載がなく、イベントを網羅しているか判断できず、設計者に確認が必要になった

## 【問題点2】 計画外の作業の発生

- 作業を行うにあたっての必要なインプットが整理されていない為に、直前になって計画外の作業が発生してしまう

- 例)
- テストを実施する段階になって、必要なテストデータの手配する作業が漏れており、急遽テストデータを作成する作業が発生した

## 【問題点3】 誰も見ない成果物

- 必要だと思って作成したが、結局どこからも参照されない無駄な成果物となってしまう

例)

- 時間をかけて仕様を整理したが、対象の機能は今回のプロジェクトでは範囲外だった

## 【問題点4】 低いトレーサビリティ

- 成果物間のトレーサビリティが取れておらず、記載内容の抜け漏れが発見できない

例)

- 要求から要件一覧を作成する際に、インプットとして利用した成果物が不明確であったが為に要件化されていない要求があった

## 【問題点5】 先の見えない道のり

- プロセスの全体像が見えておらず、自発的・効率的に動きづらい
- 全体の作業ボリュームが見えず不安になる

- 例)
- 割り当てられた作業が完了したけれど、次に何をすべきかが自分で判断できず、指示待ちになってしまう



これらの問題は、

- **スケジュールの遅延**
- **各成果物の品質低下**
- **システム全体の品質低下**

といった形でプロジェクトに影響を及ぼす

**なぜこのような問題が起きて  
しまうのでしょうか？**

# 問題の原因を考えてみました

- テスト計画を作成していない
- テスト計画立案時に作業と必要な成果物を明確にし、全体フローを共有できていない
- テスト計画書が形骸化してしまっている  
(ISO/IEC/IEEE29119やIEEE829などのテンプレートの項目を埋めることが目的になってしまっている)



**テスト計画**に関して  
**改善が必要**

ソフトウェア品質シンポジウム2016



# テスト計画の改善を行って みました

本セッションでは、  
**PFD**  
**(プロセスフローダイアグラム)**  
を使ったテスト計画作成時の  
改善活動について事例を発  
表させていただきます